

事務事業評価表（公共施設）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年6月2日

1 事業名	市民スポーツ広場管理事業			コード	113406	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤 雅章
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	スポーツ施設管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市スポーツ施設条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 （簡潔に）	湖畔広場・川岸スポーツ広場・今井西広場		
目的	対象者	市民等施設利用者	
	意図	市民スポーツ広場利用者が、安全・快適に利用できるよう、指定管理者を指定し施設の適正な管理運営を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	25年度指定管理料	2,261,000 円
施設における 通常業務	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料等の徴収		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>○業務内容 清掃、環境衛生管理、建築物・建設設備保守管理、備品等維持管理、応急措置、大会等準備、駐車場運営等</p> <p>○自主事業 湖畔広場では、施設稼働率の低い平日昼間～夕方に各種スポーツ教室を実施した。 川岸スポーツ広場では、利用団体と協働で土砂上げを実施した。</p>		
前年度の課題 への対応	湖畔広場バックネットの老朽化に伴い、H26予算に計上し、入れ替えを実施する。		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	71.0%	72.5%	39.2%	
年間開設日数（日）	255	253	252	251
1日の開設時間（時間）	15.5	15.5	15.5	15.5
年間利用可能時間（時間）	3,953	3,922	3,906	3,891
年間利用実績（時間）	2,806	2,845	1,533	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	718	696	510	510
有料利用件数	205	205	120	120
無料利用件数	88	222	135	135
減免措置件数	425	269	255	255
④ 1日あたり利用者数、件数	2.8	2.8	2.0	2.0
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,779,603	2,387,071	2,271,887	3,219,300
経常経費	1,779,603	2,387,071	2,271,887	1,679,300
臨時的経費	0	0	0	1,540,000
* 臨時的経費の説明	湖畔広場バックネット購入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	160,000	160,000	160,000	160,000
正規職員の人数(人)	0.02	0.02	0.02	0.02
③ 合計コスト(①+②)	1,939,603	2,547,071	2,431,887	3,379,300
前年度比		131.3%	95.5%	139.0%
財源内訳				
一般財源	949,107	1,672,881	1,584,624	2,198,300
特定財源	990,496	874,190	847,263	1,181,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料、財産管理収入、私用電気料			
④ 施設使用料年間収入額	839,660	724,120	698,040	977,000
⑤ 年間減免措置額	2,642,050	1,435,615	508,020	508,020
⑥ 受益者負担割合	195.6%	90.5%	53.1%	46.1%
⑦ 活動一単位あたりコスト	2,701	3,660	4,768	
前年度比		135.5%	130.3%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 73.6%	0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 96.4%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	清掃業務及び維持管理業務の強化	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	側溝土砂上げや、グラウンド石拾い等を利用団体と協働で実施し、施設の維持管理及び施設利用者の美化意識向上を図る。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			